



「放送・通信融合」2つのアプローチ

10月13日は、2つの大きなニュースが発表された日だった。

1つは楽天のTBSへの経営統合戦略発表。インターネットビジネス企業が放送局にアプローチするのはライブドア・フジテレビ問題と同様に写るが、持株会社により企業文化や放送の公共性に配慮できる形を提案しているのは実現可能性を高めている。また、楽天の中核事業がECであることから、提携事業の内容も一般人に理解しやすいと思われる。ただ、想定されている形が視聴者やユーザーに利益を与えるものになるかどうかは、蓋を開けてみなければわからない。今後の進展に注目していきたい。

もう1つの発表は、アップルによるビデオ対応 iPod の発売である。今回のビデオへの対応は、iPod がポッドキャストに対応したときから予測されていたことで、自然な流れともいえる。しかし、その意味は小さくない。単純に考えても、ラジオがテレビになったほどの差があるだろう。事実、米ABC放送の人気番組を iTunes で販売することが同時発表されている。

日米で同じ日に行われたこれらの発表に、私は「放送・通信融合」というキーワードを重ねてしまった。「放送・通信融合」については本誌の今年5月号で特集しているが、その際は、放送業界、通信業界がそれぞれどのようなアプローチで融合に向かっているのかを報告した。

しかし、この半年の間に事態は急進した。いまや、放送・通信融合の主導権は間違いなくネット側にある。もっと正確に言えば、この変革を促しているのはソフトウェア技術に他ならない。このバトルの勝者がどの企業になるかはわからないが、ネットを含めたソフトウェアの力を駆使し、新たな「価値」を創り出す企業がその勝者になることだろう。

井芹昌信 <iseri@impress.co.jp>



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp